

航 跡

こう せき

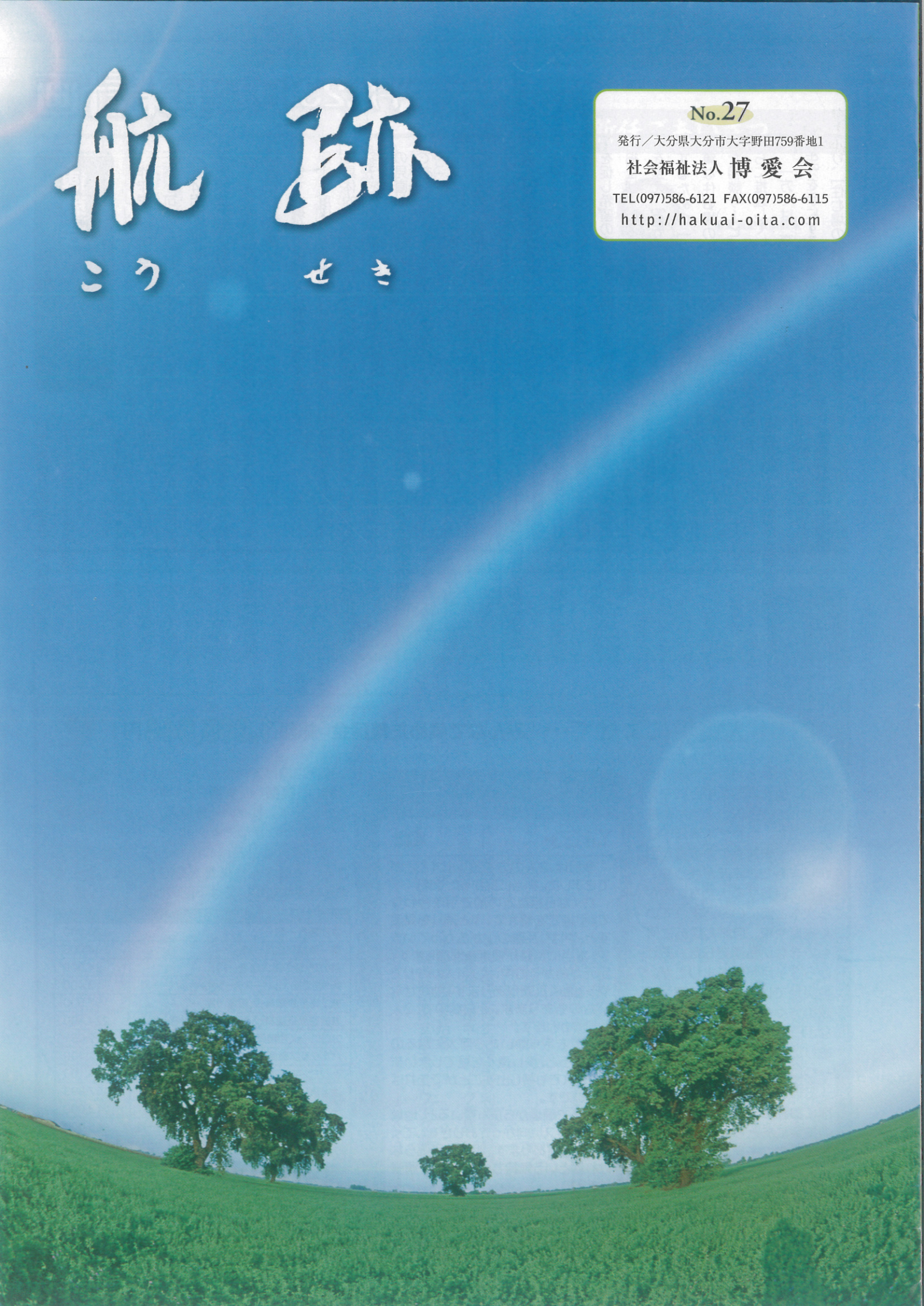
No.27

発行／大分県大分市大字野田759番地1

社会福祉法人博愛会

TEL(097)586-6121 FAX(097)586-6115

<http://hakuai-oita.com>





い生活設計の工夫」などの安心を担保とする支援を今後の指標としていきます。

昨年末、障害者自立支援法の一部改正案が可決、成立し、本年度は、平成24年4月施行までの準備期間として、また平成25年8月の「障害者総合福祉法」(仮称)のスタートに向け、具体的な改正案、基準が示されていく年となります。現状では様々な問題を抱える障害程度区分が見直されるのかどうかは具体的には示されていません。新法移行を前提とするなら、障害程度区分の見直しは最初になすべきことの指標であると考えます。現状のまま移行することは、障害がある人にとって自らの必要性や選択に基づく主体的判断がなされる自立からは程遠く、自己選択・自己決定が尊重されるような改正を望むものであります。

本年度の方針として、積極的な参加を促し希望の選択を可能にする様々な福祉サービスを提供できる環境の整備を整え、「自立」という「自由」を手にするための「安定した所得保障」「上質な住む場の確保」「ステージに応じた相談サービスやカリキュラム」をさらに推進していきます。

東北地方太平洋地震では甚大な被害が発生し、今も増え続けている状況であります。住吉浜リゾートパーク内のロッジの貸し出し等、今困っている状況に手を差し伸べながら、「元氣な博愛会」を掲げ、今年度の事業を推進していきます。

- ①福祉サービスの拠点づくりのための具現化設計
 - 大分駅南構想具現化の設計
- ②福祉サービス事業所の整備
 - 就労継続支援A型「キッチン花亭」付属施設、野菜カット加工場の新設
 - 就労継続支援B型「住吉浜リゾートパーク」内
 - オレンジホール一階部分の改修整備
 - 就労継続支援B型「住吉浜リゾートパーク」内
 - 研修室の改修整備
 - 福祉ホーム「菜の花庵」のsprinkleカラー設備の整備
 - 就労型福祉ホーム「フレンドハウス21」のグループホーム化
 - グループホーム「住吉浜Ⅰ」「住吉浜Ⅱ」の定員増
- ③職員の人材育成と資質の向上
- ④経営の安定化と新会計基準の適用

新任ごあいさつ



博愛通勤寮施設長 秋吉 公憲

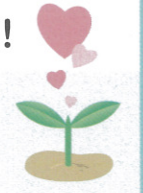
したが、多くの方々から保護者自身の高齢化、親亡き後の心配、地域

4月1日付けで施設長を拝命しました秋吉と申します。なにごんにも未熟者でありますので、皆様のご指導をいただきながら与えられた職責を果たしたいと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

また、就労と地域移行という文字どおり障害者自立支援法の理念

東日本大震災に対する善意の募金活動で関係者に感動を与えた通

東日本大震災によせて… みんなで集めた義援金 総額 1,265,544円!



復興に向けてのキーワードは「絆」・「笑顔」・「支援」といわれています。我々の仕事でも、とても大切な言葉です。我々にも何かできることはないかと法人の全利用者さん、職員さんに募金を呼びかけました。集まった金額については下記のとおりです。

| 所属別 | 金額 |
|--------------------------|-----------|
| 本部職員一同 | 120,000 |
| 第一博愛寮職員一同 | 134,000 |
| 菜の花・春の風入居者一同 | 24,000 |
| 第一博愛寮ヘルパーステーションヘルパー一同 | 3,400 |
| 第二博愛寮職員・入所者一同 | 197,500 |
| 博愛通勤寮職員・入所者、GH入居者一同 | 224,600 |
| コロニー久住職員・入所者一同 | 209,051 |
| パルククラブ職員・従業員・通所利用者一同 | 72,000 |
| キッチン花亭職員・従業員一同 | 134,100 |
| 住吉浜リゾートパーク職員・従業員一同 | 67,893 |
| 住吉浜開発(株)職員一同 | 13,000 |
| あいネットワーク大分・大分プラザ職員・利用者一同 | 66,000 |
| 合計 | 1,265,544 |

義援金は、現地で困っている我々の仲間のために10万円を全国社会就労センター協議会(セルフ協)へ、1,165,544円を日本知的障害者福祉協会へ送らせていただきました。

博愛地域総合支援センター

博愛地域総合支援センターの機能をより一層強化すべく、従来の事業に加えて昨年度からの新規事業として相談支援事業と短期入所事業の指定を受けました。

博愛通勤寮

旧法施設から自立支援法に基く施設への移行期限が迫っていることから、移行プロジェクトチームを編成しました。

やさしさが行動力 博愛通勤寮利用者で大震災

3月11日、あの東日本大震災は、私たちの心の中に大きな傷跡を残しました。博愛通勤寮でも、あの日仕事を終え疲れて帰ってきた利用者の方々が、テレビ画面に映し出される衝撃的な映像の前に立ち尽くし、口を大きく開けてただ茫然と画面を眺める姿が多くみられました。



自治会の皆さん

ら新体系への移行を慎重に進めます。個々の利用者支援については、地域社会生活への移行を想定した生活支援を行います。

障害者就業生活支援センター「大分プラザ」

大分県中部地方における障がい者就業の中核センターとして、法人内施設や民間企業・障害者職業センター・ハローワーク他の行政機関等と連携を密にし、総合調整機能を更に強化します。

- 大分市共同生活援助等利用障害者緊急時支援ネットワーク事業
- 博愛地域生活者緊急時即応支援ネットワーク事業

コロニー久住



トマト定植中

福祉現場を取り巻く状況は極めて不透明かつ厳しい状況におかれています。障がい者総合福祉法（仮称）の動向に注視しながら新制度への移行について、間違いのない方向性を選択していかねばなりません。そのような中、最後まで入所授産施設としての役割を果た

しながらも、新制度に向けた準備を進めていきたいと思えます。今年度は多様なニーズに対応しながら、職員一丸となって、利用者が豊かで穏やかな日常生活が送れるよう万全の体制で臨みます。

特に障がいの範囲も多岐に渡り、より専門性を持った支援に心掛けていきたいと考えます。また、就労することの意識を高めながら、昨年度に引き続き自活訓練事業に取り組みます。生活面では、介護が必要な利用者に対しても、授産施設であると同時に、生活、機能訓練に力をそそぎ、対応していきます。生産の場も、より集中して効率よく進められるよう、また安定した工賃確保ができるように、農場並びに農畜産加工場のしっかりとした基盤を作り上げていきます。

通所部では、福祉的就労から社会的就労へと働く意識を高めながら、豊かな日常生活が送れるよう支援していきます。なにより心が通う福祉の基本を忘れず、利用者一人ひとりが伸び伸びと明るく、生活していることが楽しいと思えるような環境作りに努めます。

パルククラブ



近年の長引くインフレ経済による消費者購買力の低下は多くの分野において販売環境を悪化させている状況です。しかし、停滞は退化である事を職員全員が強く認識した上で日々の業務に携わることが重要です。そのために、新たな発想力を養い、特に挺入れの必要な部門については職員間の相互協力をもって携わる事を基本とし、この危機的な現状を乗り切る方針です。現存する施設資源の有効活用が急務であることから、計画的な企画、アイデアを常に念頭に置き一年間を通じて活力・魅力ある事業所作りに努力します。その手段として日頃の業務内容についての意見交換などの会議を定期的に行い、常に来場されるお客様を意識した運営また、従業員

にとつては楽しく働きやすい職場環境を整えられるよう具体案を持って取り組んでいきます。急務となりつつある人材育成については、各部門で必要とされるスキルの支援をその人の特性に合わせ継続的に実施すると共に、どの部門に派出されても戦力となる従業員育成に力を注ぎます。



マリーゴールドの仮植

住吉浜リゾートパーク



《運営方針》

住吉浜リゾートパークは、「福祉」と「観光」そして「農業」のコラボレーションをより鮮明にした事業展開を継続し図るものとします。

また、昨年度の従業員は、就労環境の変化を乗り越えホテル事業や園内環境整備、コンビニ事業における接客など目を見張る成長が見受けられることから、今年度は、各自の専門性を高めることを目的とした就労形態を採り入れ、より一層の就労支援策とした「就労の場の創造と実践の場の提供」と「経済的自立の確立」を積極的に取り組んでいきたいと考えています。

そして、「地元」に貢献できる交流拠点や「周辺地域との連携を促進する中核施設」など地域に必要とされる施設作りにも努め、恵まれた自然を生かした癒しの空間を創造し、快適な宿泊や研修環境の整備をはじめ、観光資源や食材などの地域特性を活かした商品の造成を図り、「青少年育成の場」として、「高齢者が楽しめる環境」や「障がい者が癒され楽しく過ごせる空間」の提供に努めていきます。



住吉浜の夏遊び!!

第二博愛寮



《運営方針》

現在、新しい「障害者総合福祉法（仮称）」の平成25年8月施行を目指しての議論が行なわれています。とりわけ、新事業体系の移行経過措置期間は残すところあと一カ年となりました。新しい障害者福祉制度の創設という変化の時代は障がいのある人達を中心に据えた新たな制度を創造するという大きなチャンスでもあります。この変化の時こそ基本に立ち返り福祉の原点を再認識しながら24時間、365日の安心、安全の暮らしを支える支援体制づくりに努めていきます。

①就労移行支援事業の先駆けである博愛大学校「どリーむ」の運営の充実化を図り、特別

キッチン花亭



キッチン花亭では安心・安全を心掛け、職員・従業員が一体となってこれまで取り組んできました。過去5年間、事業所の安定した経営基盤作りや従業員の定着を方針に掲げ事業展開を進めてきましたが、本年度は次の事を重点に置き事業展開をおこなっていきます。

一つは、なお一層の経営努力を行うことです。そのためには、営業活動に力を入れ、より安定した経営基盤を作り、利益を上げ従業員の生活に影響を及ぼす給料保障をしっかりとしていきます。

もう一つは従業員への支援であり社会人として立派に自立していきけるよう個人、個人を育てていくことです。そのためには昨年に引き続き、お客様や障がいをもつ従業員の気持ちを「感じる」ことができる職員、感じ取り・実践できる組織」を目指して努力していきます。

また、年々増えていく新しい事業所、各種イベントも多く、今年も給食数や特注弁当、フリーニングの増加も見込まれています。安定してきた体制をさらに充実、成長させ、あらゆる要望に応じられるよう全職員が常に高い意識と自覚をもって日々過ごしていくことが望まれます。

「どリーむ」を4名が卒業

博愛大学校「どリーむ」第六期生3名、第八期生1名、計4名の卒業式が3月29日に行われました。釘宮卓司理事長より卒業証書が手渡されました。卒業生を代表して佐藤哲也さんが答辞を述べました。



- 就職先
- 日本年金機構大分事務センター
 - 住吉浜リゾートパークB型事業所
 - 株式会社ラウンドワン大分店
 - 大分赤十字病院（実習中）
- （※博愛地域総合支援センターとの連携による。）

第九期生 入学式

博愛大学校「どリーむ」第九期生5名の入学式が4月1日に行われました。「一般就労・生活自立」を目指しこれから3年間頑張っていくきます。

平成23年度 キッチン花亭入社式

4月1日（金）に入社式がとり行われました。今年度はA型事業所に3名の方が入社し管理者より一人ひとりに辞令が手渡され、自立への一歩をふみだしました。



また、3人はフレンドハウス21の寄宿舎に入居し快適な生活を送っています。



左から藤田さん、阿南さん、牧さん

平成22年度 博愛会決算状況

(単位：千円)

| 一般会計 | 貸借対照表 | | | | 事業活動収支計算書 | | | |
|-------|-------|-----------|------------|-----------|-------------|-----------|---------|-----------|
| | 借方 | 金額 | 貸方 | 金額 | 借方 | 金額 | 貸方 | 金額 |
| | 流動資産 | 525,791 | 流動負債 | 98,965 | 事業活動収入 | 196,090 | 事業活動支出 | 1,053,167 |
| | 固定資産 | 2,174,485 | 固定負債 | 241,370 | 事業活動外収入 | 1,212,765 | 事業活動外支出 | 466,811 |
| | | | 基本金 | 501,741 | 特別収入 | 50,532 | 特別支出 | 77,805 |
| | | | 国庫補助積立金 | 613,418 | 収入合計 | 1,459,387 | 支出計 | 1,597,783 |
| | | | 積立金 | 111,796 | | | | |
| | | | 次期繰越活動収支差額 | 1,132,986 | 当期活動収支差額 | | | △ 138,396 |
| | 資産合計 | 2,700,276 | 負債・純資産計 | 2,700,276 | 前期末繰越活動収支差額 | | | 1,336,977 |
| | | | | | 繰越活動収支差額 | | | 1,198,581 |
| | | | | | 次期繰越活動収支差額 | | | 1,132,986 |
| 就労会計等 | 貸借対照表 | | | | 事業活動収支計算書 | | | |
| | 借方 | 金額 | 貸方 | 金額 | 借方 | 金額 | 貸方 | 金額 |
| | 流動資産 | 199,886 | 流動負債 | 52,110 | 就労事業収入 | 676,955 | 就労事業支出 | 651,146 |
| | 固定資産 | 644,680 | 固定負債 | 21,998 | 事業活動収入 | 151,105 | 事業活動支出 | 150,411 |
| | | | 基本金 | 36,078 | 事業活動外収入 | 291,765 | 事業活動外支出 | 5,448 |
| | | | 国庫補助積立金 | 135,746 | 特別収入 | 5,470 | 特別支出 | 0 |
| | | | 次期繰越活動収支差額 | 598,634 | 収入合計 | 1,125,295 | 支出計 | 807,005 |
| | 資産合計 | 844,566 | 負債・純資産計 | 844,566 | 当期活動収支差額 | | | 318,290 |
| | | | | | 前期末繰越活動収支差額 | | | 280,344 |
| | | | | | 次期繰越活動収支差額 | | | 598,634 |

第一博愛寮

「運営方針」

障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえ、障害保健福祉施策を見直すまでの間、関係法律の整備に関する法律が公布され、障害者自立支援法等が改正されようとしています。主な改正内容をみても地域生活を見据えたものが主体となっています。

今後、当施設が新体系事業に移行すれば、障害者支援施設として、施設入所支援と生活介護を組み合わせたサービスが主体となり、終身利用が可能となるため、当施設の高齢化は更にすすむものと



居室前の小菜園にて

考えられます。このため、入所支援施設としての機能は生かしつつ、利用者への支援をより厚くするため、職員は介護保険施設での介護技術の習得に努めます。このことは、法人内の各事業所でも高齢となり生活する方たちの受け皿となり、本人はもとより保護者、関係者に安心を担保することになります。

また、ハード面の整備においては、将来的な大規模修繕に備え、人員、設備及び運営に関する基準についての検討委員会を設置し対応できる準備をすすめていきます。

また、大規模修繕までの間、特に傷みが激しい建物内部の壁面や利用者個々の収納タンスについて一部リニューアルを行い、快適な住環境の整備を行います。更に利用者支援の現場としては、現状の障害程度区分の認定を受けることを踏まえ、認定に関する審査及び判定の内容を職員が熟知したうえで、各利用者の認定手続きに臨む体制を整備します。今年度は、区分認定を受ける利用者一人ひとりの生活状況及び課題を的確に把握したうえで、コミュニケーションを実施し、区分認定に対応できるものを培ってまいります。

地域生活支援については、整備法の中でより障がい者の地域生活を促進するプログラムが多く導入され、一層のグループホーム、ケアホームの設置に向けた施策が実施されようとしています。

現在、当施設がバックアップしている共同生活介護・共同生活援助事業「第一博愛事業所」と高齢者用福祉ホーム「菜



楽しい調理実習 みんなでお好み焼きを作りました

の花庵」「春の風・庵」については、地域生活支援事業でありながら「福祉ホーム」の位置付けが低く、居宅介護事業をもつてその生活を維持している実情があり、地域生活支援のなかでも特に厳しい状況にあります。将来的な展望も踏まえて、居宅介護事業と本体施設における新体系の日中活動サービスを利用しながら、地域生活者の生活を維持させる方策を検討していく年度となります。

施設外活動 平成23年 3月12日(土)～13日(日)

第13回 下関市知的障害者バレーボール大会

下関市で開催された親睦バレーボール大会に参加しました。この大会は県内外のチームとの交流と障害者スポーツの普及が目的で山口県や福岡県、兵庫県など7県から計14チーム約180人が参加しました。初日は予選リーグを行い2日目は予選の結果によるトーナメント戦及び交流戦を行いました。大分県からも男子の「大分博愛クラブ」女子の「チャレンジガールズ」が参加しましたが男女共に交流戦で1勝という成績に終わりました。又、今年6月に開催される全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会(大分県・杵築市)の前哨戦としても行われました。



「緊急障がい者職域開拓及び一般就労移行対策事業」を受託しました

障害者就業・生活支援センター「大分プラザ」は今年度「大分県緊急障がい者職域開拓及び一般就労移行対策事業」の業務委託を受けました。職域開拓員3名と就労移行コーディネーター1名を雇用し、民間事業所および福祉施設利用者についての情報収集機能や職場実習あっせんの能力を集中的に高めることを目的とした事業です。



スタッフの皆さん

大分県内各地の社会福祉法人や障がい者雇用を行っている事業者、これから障がい者雇用を進めようと考えている事業者と連携し、就労を希望する障がい者と障がい者雇用を実施する事業者のマッチング(労働条件・能力に応じた業務内容などのすり合わせ)を支援します。職場実習を通じて就職へ繋がるよう、事業者と障がい者の双方に援助を行っていきます。

また、就労希望者と障がい者雇用事業者の情報を集約しデータベースを構築することで、迅速にマッチングを行い障がい者雇用の更なる推進のための体制を整えます。

博愛ダッシュ村 近況報告

博愛ダッシュ村も9年を迎え、待望の陶芸工房とハーブ工房が完成しました。建物中の設備を充実させようと着々と準備を進めています。ログハウスの中での陶芸品作り、ハーブの加工と夢は広がるばかりです。

野菜の植え付け、ブドウの作付け準備も終わり、夏場からの収穫を待つばかりです。生活に変化を求めての作業の場として、また障がいの重い方や高齢の方の癒しの場となっています。



社会福祉法人 博愛会本部

〒870-0868 大分県大分市大字野田759番1
TEL (097) 586-6121 FAX (097) 586-6115

指定知的障害者更生施設 **第一博愛寮**

〒870-0868 大分県大分市大字野田759番地1
TEL (097) 549-1321 FAX (097) 549-1092
※ホームヘルプステーション直通TEL (097) 548-7257

指定知的障害者更生施設 **第二博愛寮**

〒879-7761 大分県大分市中戸次2131
TEL (097) 597-0204 FAX (097) 597-0205

指定特定知的障害者授産施設 **福祉農場 コロニー久住**

〒878-0202 大分県竹田市久住町大字有氏896-14
TEL (0974) 77-2344 FAX (0974) 77-2951

指定知的障害者通勤寮 **博愛通勤寮**

〒870-0951 大分県大分市大字下郡1226-2
TEL&FAX (097) 569-3109

障害者就業・生活支援センター **大分プラザ**

〒879-7761 大分県大分市高砂町2番50号 オアシス21 3階
TEL (097) 514-3300 FAX (097) 514-3970

指定障害者就労継続支援多機能型事業所 **キッチン花亭**

〒870-0868 大分県大分市大字野田841番地1
TEL (097) 586-5775 FAX (097) 586-5525

指定障害者就労継続支援事業所(A型) **パルクラブ**

〒878-0202 大分県竹田市久住町大字有氏896-22
TEL (0974) 77-2941 FAX (0974) 77-2946

指定障害者就労継続支援事業所(B型) **住吉浜リゾートパーク**

〒873-0033 大分県杵築市守江1165-2
TEL (0978) 63-9117 FAX (0978) 63-9127
<http://www.sumiyoshihama.com>

知的障害者福祉ホーム **菜の花庵**

〒870-0868 大分県大分市大字野田840番地
TEL (097) 549-6300

知的障害者福祉ホーム **フレンドハウス21**

〒870-0868 大分県大分市大字野田840番地
TEL (097) 549-5999

知的障害者福祉ホーム **春の風・庵**

〒870-0868 大分県大分市大字野田813番地2
TEL (097) 586-6157

編集後記

霧島連山新燃岳の噴火、ニュージーランドの地震、そして3月11日の東日本大震災。さらに、東京電力の原発の事故。

昨年から立て続けに現れる驚異的な自然の力の前に、ただ身を委ねるだけの人間の虚しさを痛感しました。

今なお避難生活を余儀なくされ、先の見えない不安と、不自由な生活に立ち向かっている方々に、支援の力を差し伸べる善意の国々。

日本を取り巻く環境は混沌としていますが、今こそ“博愛の心”を基調に、それぞれが手を繋ぎ合って前進したいものです。

お知らせ INFORMATION

博愛会職員の様子

| | | |
|-----------------------|--|---|
| 退職 (3月31日付) | 宮地 弘彦 (博愛通勤寮施設長) | 河野 明子 (第二博愛寮支援員) |
| 新規 (4月1日付) | 秋吉 公憲 (博愛通勤寮施設長) 板井 元子 (博愛通勤寮事務員) 東 幸輝 (博愛会本部事務員) 赤嶺 成亮 (キッチン花亭支援員) | 矢北 詠子 (第一博愛寮支援員) 日隈 和子 (第一博愛寮看護師) 井上 央絵 (第二博愛寮支援員) |

海開きが行われました

住吉浜リゾートパーク

6月2日、神事を行い事故のないよう祈願した後、海開きをしました。今年も水質検査の結果は良好でした。



新商品「ネギキムチ」

コロニー久住

1袋(200g入)
200円



販売場所

パルクラブ温泉館
442号線沿いの道の駅
または直接お問い合わせください。
TEL 0974 (77) 2345

交歓会のお礼

第二博愛寮

去る5月22日、第40回交歓会を大分市中戸次のふれあい広場で開催しました。地元をはじめ、協賛企業、ボランティア等、多くの方々のご理解、ご協力のたまものと職員一同感謝申し上げます。



寄附・寄贈

安藤昭三様より 30万円
釘宮誠司様より 97万円
博愛会後援会様より 350万円

安藤昭三様より
金一封 (第一博愛寮へ)
第一博愛寮保護者
安部吉成様より 120万円
(第一博愛寮へ)
第二博愛寮保護者
東岡誠吾様より 金一封

ありがとうございました。